

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 周産期合併症の発症リスクが異なる子宮内膜調整法の妊娠初期胎盤への影響
	●研究の対象 2021年4月より2028年3月までの期間に、俵 IVF クリニックにて不妊治療を実施された方
	●研究の目的 現在、本邦では14人にひとりが高度生殖補助医療により生まれています。体外受精で得られた受精卵を凍結融解後に子宮へ移植する場合、自然な排卵周期に合わせて移植する自然排卵周期とホルモン剤で子宮内膜の状態を調節後に移植するホルモン補充周期があります。近年、ホルモン補充周期により妊娠した女性は自然排卵周期の場合に比べて周産期合併症の発症頻度が高いことが明らかになってきました。我々はその原因として、子宮内膜と絨毛で構成される胎盤の質の違いに着目しています。本研究では異なる子宮内膜調整法によって得られた妊娠初期胎盤の形態学および免疫組織学的な差異を明らかにし、周産期合併症発症の原因を解明することを目指しています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2028年3月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は、記憶媒体（DVDなど）に保存し、提供機関の研究者に直接渡します。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を照合するための表は、提供元にて保管・管理します。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	<ul style="list-style-type: none"> ●研究に使用する試料・情報 ・研究対象者背景：年齢、不妊原因、過去の不妊治療歴など ・身体所見：BMI など ・臨床検査：治療内容や治療成績 ・試料：子宮内容物の残余検体
《利用する者の範囲》	<ul style="list-style-type: none"> ●機関名および責任者名 浜松医科大学 宗修平 ●既存試料・情報の提供のみ行う機関 俵 IVF クリニック 俵史子
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	浜松医科大学 生殖周産期医学講座 宗修平
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自身の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望され

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>ない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
《問い合わせ先》	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 生殖周産期医学講座 担当者： 宗修平 TEL： 053-435-2425 E-mail： so@hama-med.ac.jp</p>